

八代市総合戦略 効果検証（概要）

（平成27年10月～令和3年3月）

資料1

■表1 基本目標の状況

数値目標	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標							
従業者数（人）	49,768人 (H24)	48,544人 (R1時点)	49,011	-	-	-	令和3年経済センサス(R4年5月公表)	-	-
製造品出荷額等（億円）	2,292億円 (H25)	2,580億円 (R1計)	2,463	2,644	2,688	2,753	令和3年経済センサス(R4年5月公表)	-	-
農業者総所得額（億円）	52億円 (過去5年間の最大・最小値を除く平均値)	54億円 (R1計)	56	72	47	40	39	▲15億円	↘
観光入込客数（万人）	238万人 (H26)	260万人 (R1計)	221	284	253	217	154	▲106万人	↘
観光消費額（億円）	119億円 (H26)	130億円 (R1計)	99	144	134	122	81	▲49億円	↘
社会増減数（人） ※累計	▲1,199人 (H27-31社人研推計値)	▲1020人 (H27-R1累計)	39	96	▲32	▲281	▲708	312人	◎
希望出生率	2.00 (H27)	2.07 (R1計)	-	-	-	1.88 (R1調査)	-	▲0.19	↘
65歳以上人口に占める 要介護3以上の割合(%)	7.21% (H27)	7.20%以下 (R1時点)	7.70%	7.77%	7.42%	7.57%	7.44%	0.24%	↘
住みやすいと評価する 人の割合(%)	70.8% (H27)	75.0% (R1時点)	-	-	-	68% (R1調査)	-	▲7.0%	↘

【数値目標についての評価】
第1期八代市総合戦略における基本目標に設定された数値目標9項目のうち、目標を達成したものが1項目、目標達成に至らなかったものが6項目、評価を見送ったものが2項目という結果となった。
最終年度においては、新型コロナウイルス感染症等の影響により目標達成に至らなかったものの、対象期間中には順調に数値が伸びていた項目や、既に目標を達成していた項目もあったことから、基本目標の達成に対して一定の効果があつたと評価できる。

■表2 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

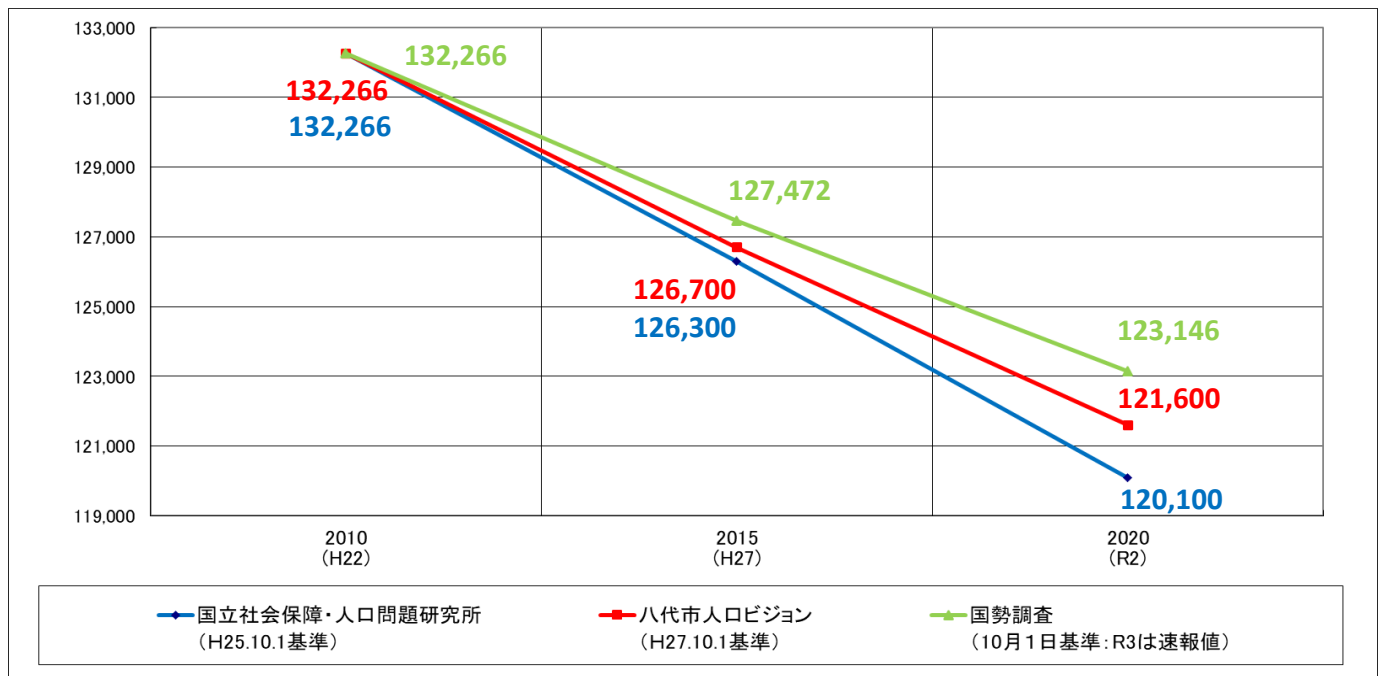
	KPI数	目標達成 [◎]		目標未達成					
		件数	割合	上昇 [↗]		維持 [→]		下降 [↘]	
				件数	割合	件数	割合	件数	割合
基本目標1	21	10	47.6%	9	42.9%	0	0.0%	2	9.5%
基本目標2	13	5	38.5%	3	23.1%	0	0.0%	5	38.5%
基本目標3	18	7	38.9%	5	27.8%	0	0.0%	6	33.3%
基本目標4	23	9	39.1%	9	39.1%	2	8.7%	3	13.0%
全体	75 ※	31	41.3%	26	34.7%	2	2.7%	16	21.3%

※事業停止の1件については、全体数から控除している。（全76件－1件＝75件）

【重要業績評価指標（KPI）についての評価】
第1期八代市総合戦略における具体的施策に対して設定された重要業績評価指標（KPI）75項目のうち、目標を達成したものが31項目、策定時より数値が上昇したものが26項目、策定時から数値が維持となったものが2項目、策定時から数値が下降したものが16項目という結果となった。
目標が達成された項目と策定時より数値が上昇した項目を合計すると57項目となり、全体の約75%の項目で策定時から数値が向上した。
また、最終年度においては、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨等の影響により、策定時より数値が下降しものの、対象期間中には順調に数値が伸びていた項目や、既に目標を達成していた項目もあったことから、取組の成果は着実に出ており一定の評価ができる。

■表3 人口の推移

	H22	H27	R2 (3)は速報値	H27.10～R2.9 人口増減数
(1)国立社会保障・人口問題研究所（H25.10.1基準）	132,266	126,300	120,100	▲6,200
(2)八代市人口ビジョン（H27.10.1基準）	132,266	126,700	121,600	▲5,100
(3)国勢調査（10月1日基準）	132,266	127,472	123,146	▲4,326



【人口の推移について】
R2年10月1日基準の国勢調査による本市の人口は123,146人となっており、総合戦略策定時の国立社会保障・人口問題研究所の推計人口120,100人、第1期八代市人口ビジョンの将来展望人口121,600人を上回っている。
また、本市の人口減少のスピードが緩やかになっている。
このことにより、第1期総合戦略の取組により、本市の人口減少に対し、一定の効果があつたと評価できる。